

年度	2022	開講学期	前期	単位数	2	時間割コード	Q253
授業科目名	情報基礎			担当教員名	伊藤 幸男		
授業科目名：英語	Basic Computer Science						
重複科目名							
セット科目名							
開講情報		曜日	時限	時間割コード			
	1	月	3	Q253			
	【凡例】 ：当該科目 ：同時に履修すべき科目（セット科目）						
主な対象学生	農学部 森林科学科 1						
科目の情報	科目の種別	教養教育科目		科目番号	GBI101B		
主な使用言語	Japanese						
履修上の条件							
担当教員情報	氏名（カナ）	伊藤 幸男（イトリサチオ）					
	担当教員名（英語）	ITO, Sachio					
	所属	農学部					
	常勤・非常勤						
	研究室	農 - 2 - 4 1 0					
	公式サイト	岩手大学 研究者総覧： researchmap：					
	個人サイト						
相談可能時間	メール等で随時連絡を下さい。						
他の担当教員	松木 佐和子、川村 暁、真坂 一彦、齋藤 仁志						
キーワード	ネットワーク利用、インターネット操作、情報検索、AI・数理データサイエンス、エクセル、プレゼンテーション、数値データ						
学位授与方針との関係	本科目は、森林科学科の学位授与方針の知識・理解2（森林科学の学問内容および方法を説明できる）、思考・判断3（森林の多面的機能について、総合的に考えることができる）および関心意欲6（自主的、継続的に学修できる）に関連する科目である。			学位授与の方針			
				知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現
				30%	20%	20%	30%
授業の目的	高度情報化社会において社会生活を送る上で身につけておくべき情報及びコンピュータに関する基礎的な概念と技能を修得することが目的である。具体的には、情報化社会の現状とコンピュータの役割、そこでの社会的な問題点やモラルに関する基礎的な知識を修得し、コンピュータの仕組みの理解を踏まえて、数理・データサイエンス教育の一環として情報処理を適切に行うための基礎的な知識と技能、情報の受発信に必要な基礎的な知識と技能を習得する。						
到達目標	情報化社会の現状とコンピュータの役割を知り、そこでの社会的な問題点やモラルに関して説明できるようにする。また、岩手大学固有の情報システムにユーザー登録し、電子メールの送受信や図書館文献検索を含む情報検索ができるようにする。さらに、ワードによる文書・図表作成、エクセルによるデータ処理と図表作成、パワーポイントによるプレゼンテーションについて、今後の学生生活に要求されるレベルまで技能の上達を図る。						
授業の概要	第1回 講義ガイダンス 第2回 情報の基礎 第3回 コンピュータセキュリティとネットワークセキュリティ 第4回 ネットワークリテラシー、情報探索 第5回 コンピュータの仕組みと基本操作・メール操作 第6回 AI・数理データサイエンス入門 第7回 レポート作成の作法 社会科学編 第8回 レポート作成の作法 自然科学編 第9回 MSパワーポイントによるプレゼンテーション技法 第10回 エクセル（データ分析入門）1 - 入力と演算 - 第11回 エクセル（データ分析入門）2 - 関数 - 第12回 エクセル（データ分析入門）3 - 図表の作成 - 第13回 エクセル（データ分析入門）4 - 図表の作成 - 第14回 森林科学とデータサイエンス						
実務経験の有無と授業内容への反映							
授業の形式	講義および演習						
授業時間外の学習/予習・復習	講義形式で行われた授業では配布資料や教科書の該当部分の復習を、また、実習形式で行われた授業では演習室等のパソコンを用いて、目標に到達するまで各自で技能を修得すること。						
詳細計画（各回または週の具体的な授業内容、目標など）							
回/週	授業内容			予習・復習			備考
1	講義ガイダンス			特になし			
2	情報の基礎			情報の基礎の復習			

3	コンピュータセキュリティとネットワークセキュリティ	コンピュータセキュリティとネットワークセキュリティの復習				
4	ネットワークリテラシー、情報探索	ネットワークリテラシー、情報探索の復習				
5	コンピュータの仕組みと基本操作・メール操作	コンピュータの仕組みと基本操作・メール操作の復習				
6	AI・数理データサイエンス入門	AI・数理データサイエンスの復習				
7	レポート作成の作法 社会科学編	レポート作成の作法の復習				
8	レポート作成の作法 自然科学編	レポート作成の作法の復習				
9	MSパワーポイントによるプレゼンテーション技法	パワーポイントの復習				
10	エクセル(データ分析入門)1-入力と演算-	エクセル操作の復習				
11	エクセル(データ分析入門)2-関数-	エクセル操作の復習				
12	エクセル(データ分析入門)3-図表の作成-	エクセル操作の復習				
13	エクセル(データ分析入門)4-図表の作成-	エクセル操作の復習				
14	森林科学とデータサイエンス	森林科学とデータサイエンスの復習				
15						
16						
17						
18						
成績評価の方法と基準	評価方法	割合	評価観点			
	平常点	50%	関心・意欲	知識・理解	技能・表現	思考・判断
	課題1(エクセル1-2)	25%				
	課題2(エクセル3-4)	25%				
評価の基準(具体的に)						
出席回数(50点)と2つの課題(各25点×2)の100点満点で評価する。 出席率75%以上で、課題全てを提出した場合がこの科目に合格する最低ライン(可)である。 この条件を満たした上で、合計点70未満を「可」、70点以上80点未満を「良」、80点以上90点未満を「優」、90点以上を「秀」とする。						
履修における留意点						
教科書/教材	岩手大学情報教育教科書編集委員会 編、情報基礎 第5版 コンピュータの基本操作と情報活用術、学術図書出版社、2022年、978478061002					
参考文献						
コースリザーブ図書						